

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 3月 28日

公表:令和 5年 3月 29日

事業所名 シリウスA

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		状態、性別、等でエリアを分け活動していただいている	柔軟な活動ができるよう体制作りを行っていく
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		適切に配置できている	法令を遵守し適切に配置を行う
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		全窓飛散防止シート加工等、事故防止、安全配慮の徹底も合わせ、行っている。児童の関わりも増やせるような取組みをしている	ひきつづき、快適に過ごしていただけるよう、環境整備、空間作りを行う。コミュニケーション向上を意識した支援、関りを持つようにしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		朝夕の清掃、遊具等、直接触れるものはアルコール消毒を必ず行っている。空調管理専用の温度計を用意し看護師が調整している	継続して空調、温度管理を行う
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		日々の振り返りや朝礼を活用し、常勤、非常勤に関わらず参画している。	送迎ドライバーの参加頻度を上げる事が課題
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者評価表実施後すぐ、全職員共有、ご意向を踏まえ、業務改善、サービス向上について話し合いを行った	アンケートのみにとどまらず、保護者等様からのニーズを把握できるような関係性を築いていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		集計等ができ次第、HPで公開するようにしている	次年度も法令順守し、公開する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		外部評価を受け別視点からの意見等を業務に繋げるようにしている	定期的に外部評価を行っていきたい
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		職員の技能、知識が向上するよう、年1回以上研修の機会を確保して定期的にアセスメント、評価を行い、それらをもとに計画作成を行っている	テーマ、内容については事業所内で話し合いながら決めていきたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントツールは標準化したものを使用している	継続して、法令を遵守し行う
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		アセスメントツールは標準化したものを使用している	アセスメントシート活用法について再考していききたい
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		支援計画は具体的な方法、手段を記載し、本人、保護者もすぐわかるよう作成している。本人の意思を尊重するように取り組んでいる	関係機関との連携強化に努めていきたい
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		支援の組み立ては支援計画を元に取り組んでいる	次年度も継続
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		個人で立案した後に、看護師の助言をもちろせている	アイデア等を本人、保護者等にも要望を伺い、楽しめるような活動プログラムになるよう検討中
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		児童の体調等に合わせ、内容を変えるたり細やかな対応をしている	区の会員のお誘もあり地域児童と交流できる取り組みをしていきたい
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別、集団を特性や年齢を考慮し支援計画に反映させている	継続して、法令を遵守し行う
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼で打合せ、非常勤職員も出勤直後に内容の周知をしている	シフトによって、児童、職員同士の接点が少ないことがあった。事業所内でのコミュニケーション、職員間での共有を行っていく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		振り返りを毎日行い、情報を共有するようにしている	継続して行っていく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		すぐに記録をつけ、毎日の振り返りで一時的か続いているかを共有	継続して行っていく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		計画書作成後、3カ月に1回モニタリングを実施。児童発達支援管理責任者を中心に内容精査を行っている	継続して行っていく	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	可能な限りそうにしている	状況に精通していても、医療的ケア会議等、対象児童のテーマ内容に沿って行えたかどうか、検討していきたい
	22	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	関係者、関係機関より見学依頼、問い合わせはすべてお受けし、連携の機会につながるよう努めている	連携は受動的な事がほとんどであった為、現在のつながりを大切にしながら広げていきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	医療、福祉施設等、必要な機関と連携を行っている	継続して行っていく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	嘱託医が毎月訪問し看護、健康管理について助言、指導を行っている	継続して行っていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	一部ではあるが、移行支援も行っている	開所間もないため、全ての機関に情報共有が十分にされていないのが現状。今後は支援内容等を共有していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	一部ではあるが、移行支援も行っている	開所間もないため、全ての機関に情報共有が十分にされていないのが現状。今後は支援内容等を共有していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	事業所連携は近隣市町の児童発達支援センターと行うことができた	専門機関との連携は、能動的にし、助言等をしていただくよう努める。今後は研修も積極的に参加していきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	毎日の外出を活動に取り入れ、近隣地域の方々と交流を持てるようにしている	保育園、認定こども園、幼稚園等へ積極的に働きかけていく事で、今後は障がいの無い児童とのかわりが増えるよう取り組む
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○	可能な限り参加するようにしている	日々の業務と開催時間が限られている為、zoom等活用し、今後は積極的に参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者とコミュニケーションを取り、施設での活動状況を共有している	継続して行っていく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○	保護者に対して支援のアプローチ等、専門知識をお伝えしている	送迎日の際、少しずつ専門知識をお伝えするように努めている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	書面を使う等、伝わりやすく、ご納得されるよう努めている	継続して行っていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	支援計画を作成し、同意を得た上でサービスを提供している	継続して行っていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	お悩みがある場合、保護者から伝えやすい環境を整えている	子育ての相談については、兄弟児支援、ケア等、ご家族全体として捉えるなど、多様な視点が持てるよう、職員の知識向上を図る
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者同士のつながりができるよう、保護者会等を計画している	コロナの収束具合も加味し来年度に開催予定
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	相談、申入れがあった際に迅速に対応できるよう体制を整えている	継続して行っていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	行事予定や活動状況は児童、保護者へ向けて定期的に発信をしている	会報について発信する方向で検討していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	法令を遵守し取り扱い、保管、管理している	継続して、法令を遵守し行う
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	わかりやすく、丁寧に話をする。児童については聞くようにしている	活動で有効であった伝達法を取り入れていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域の方に気軽に訪問、ご相談いただけるよう取り組んでいる	継続して行っていく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	各マニュアルを管理者、担当者が策定し、緊急避難場所の確認、周知、緊急時を想定した訓練を定期的に行っている	継続して行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	非常食の常備、避難の仕方、訓練を定期的に行っている	継続して行っていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○	全児童の服薬、予防接種歴、発作等を確認している	継続して行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	医師の指示書に基づき、ゼリー等は細心の注意を払って提供している	継続して行っていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットがあった場合は、その日中に共有、改善する	継続して行っていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	委員会を設置し半年に1回以上虐待研修を行っている	職員のスキル向上が虐待防止に繋がるという観点から、今後も積極的に行う方針。内容、テーマについて、事業所内で話し合いながら決めていきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	身体拘束必要の適正化を図るために必要な体制、研修を行っている	継続して行っていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。